

# 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況(連結)

平成 16 年 2 月 20 日

上場会社名 玉井商船株式会社

(コード番号:9127 大証第2部)

(URL <http://www.tamaiship.co.jp>)

代表者 役職・氏名 取締役社長 本馬 修

問合せ先責任者 役職・氏名 取締役経理部長 平田 博司

(TEL(03)5472-7031)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高(又はこれに相当する事項)の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

## 2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

### (1) 売上高(又はこれに相当する事項)(百万円未満を切り捨て)

	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	2,844	
15 年 3 月期第 3 四半期		
(参考)15 年 3 月期	4,154	

(注)売上高(営業収益)は、当第 3 四半期までの累計値である。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示す。

四半期業績の開示初年度のため、前年同四半期の数値及び前年同四半期比増減率は記載していない。

#### [売上高(又はこれに相当する事項)に関する補足説明]

当第 3 四半期までの売上高(営業収益)は累計で 2,844 百万円となっており、中間決算発表時の通期業績予想の営業収益 4,110 百万円に対する達成率は、69.2%である。

事業の種類別セグメント毎の売上高(営業収益)及び同達成率は、外航海運業 1,678 百万円、66.2%、内航海運業 1,045 百万円、73.9%、その他 120 百万円、74.7%である。

外航海運業に関しては、不定期船市況がさらに高水準で推移しており、このため短期用船船舶を用船し、引き受け貨物輸送に投入する航海において逆鞘配船が生じているが、逆に自営運航の海外社船は市況高騰のメリットを享受しており、短期用船での赤字をカバーしている。しかし、この第 3 四半期においては、海外社船 2 隻共に、11 月下旬以降の航海が 1 月初旬完了となっており、航海完了基準によって、収益費用の計上が第 4 四半期となっていること、また、円高の進行による外貨建て運賃等の円換算額の目減りなどで、第 3 四半期までの達成率は比較的低レベルとなっているが、通期業績予想のとおり推移している。また、内航海運業においては、特に、内航タンカー部門において、引き続き重油輸送が比較的好調に推移しており、予想より増収ベースを維持している。

### (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

#### [概要]

特になし。

当該四半期末における投資有価証券の含み益は、325 百万円(前期末比 310 百万円増)であり、その他有価証券評価差額金は 192 百万円(前期末比 182 百万円増)となっている。

## 3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

変更なし。

以上